



9月5日(水)、社会福祉総合センター4階視聴覚兼会議室にて、『発達気になる子の子育て講座』&おしゃべりルームを行いました。

今回の講座は[札幌 ADHD の会一よ][NPO 法人北海道学習障害児・者親の会クローバー][北海道高機能広汎性発達障害児者親の会ドンマイの会]に御協力をいただき、講話と「親の会」紹介の2部構成で行う初の試みでした。

一日を通して参加された方、講話のみ・茶話会のみ参加された方など、合計で32名(会員7名・非会員25名)、役員、他団体代表の方々を合わせると50人近くの人数となりました。

【はじめは理解から～気になる子どもの育ち】と題した講話では、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる所長 加藤潔氏から、大変わかりやすく、具体的な事例・エピソードを交えながら、発達障がいの基本的な事柄とお子さんとの関わり方のヒントなどをお話いただきました。参加者の皆様は大きく頷いたり、時には笑ったりしながらも熱心にメモを取られていました。

「障害を100%受容できる親御さんなんているわけがない。障害受容しようと努力している、それでいいのです！それがもう受容なんです！」

「親は大変です。だから休んでいいんです。どうぞ積極的に休んでください！」

力強いその言葉に、身構えていた肩からフツと力を抜くことができた親御さんも多かったのではないのでしょうか。

講話後は、4団体の代表と JDD 会長から、会の沿革と具体的な活動を御紹介いただいた後、それぞれの会に分かれ茶話会へと移りました。

札幌ポプラ会おしゃべりルームのテーブルには10名ほどが集まり、ご持参いただいた軽食をとりながら、それぞれの悩みや思いを打ち明けたり、情報を交換されていたりしました。どのテーブルも賑やかで終了時間を30分延長するほどの盛り上がりとなりました。

今回の講座は、主に、お子さんの心配事に気付いてから日が浅い方や何らかの診断がついたものかどうかという方に、「親の会」の存在をお知らせすることで孤立を防ぐこと、少しでも子育てに楽しく取り組んでいただきたいという主旨で開催したものです。参加して下さった皆様が、受付時とは違った和らいだ表情で「ありがとうございました」と言葉を残して帰られたこと、アンケートに書いて下さったポジティブな言葉、入会につながった方がいらっやったことは、「親の会」の事業として大きな収穫だったのではないかと感じています。

この講座は2月16日に同じ内容で、もう1度開催されます。ぜひ、未入会のお知り合いがいらっやいましたらお誘いください。開催日が土曜日となっておりますので、お父さんに参加していただくのもオススメです！

(下田)

